

# 好きです まねばし

## 特集

グリーンドーム前橋〜前橋文学館

モデル散策ガイド

- 幸の池・東照宮
- ひょうたん池・臨江閣
- 中央児童遊園・広瀬川遊歩道
- 弁天通り・前橋文学館

### HOT DAY HOT TIME

前橋イベント情報

TRY 参加しよう！

前橋の建造物

「臨江閣」

アート散歩「三つのM」

伝統行事を訪ねて

産泰神社太々神楽

トピックス TOPICS

両毛線一〇周年

新駅・前橋大島駅

有名・無名の前橋人

藤井新兵衛（ふじいしんべえ）

前橋広域圏コーナー

農産物直売所情報

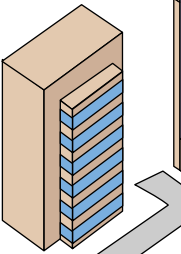


# 特集

# グリーンドーム前橋 モデル ～ 前橋文学館

3月5日から7日は第7回IAAF世界室内陸上競技選手権前橋大会がグリーンドーム前橋において開催されますので、その周辺の散歩道にスポットを当ててみました。編集スタッフが実際に歩いて前橋文学館まで1時間ほどのコースを作ってみましたので、「好きですまえばし」を片手にあなたも歩いてみませんか。

前橋市役所



1

それではまずグリーンドームエントランス前の**モニュメント**を出発地点とします。信号を左手前方に渡り広瀬川放水路にかかる太鼓橋を渡り、頭上を横切る中央大橋の橋桁をぬけて、右に見える**幸の池**へ続く階段を降りて、池の畔を左回りに右手へ進みます。すると池の南には**時計塔**が見えてきます。この時計塔の広場では毎朝ラジオ体操が行われていて鯉の餌等を販売する売店もあります。この売店で鯉の餌を買い求めたら池を横断する橋の上から鯉に餌を与えてみると体長1メートルを超えるような大きな鯉にお目にかかれるかも知れません。

2

そして池の南東にある階段を上ると大きな**芝生の広場**に出ます。更に左手にある階段を登ると幸の池とグリーンドームを一望できる土手に登ることができます。ここは、前橋城の土塁の名残で市街地では一番標高の高い眺めの良い所です。晴れていれば利根川をさみ対岸には上毛三山の榛名山を始め遠く冠雪をいただいた浅間山等を眺望することができます。ここはソメイヨシノのトンネルが続き、春はお花見の名所となっています。

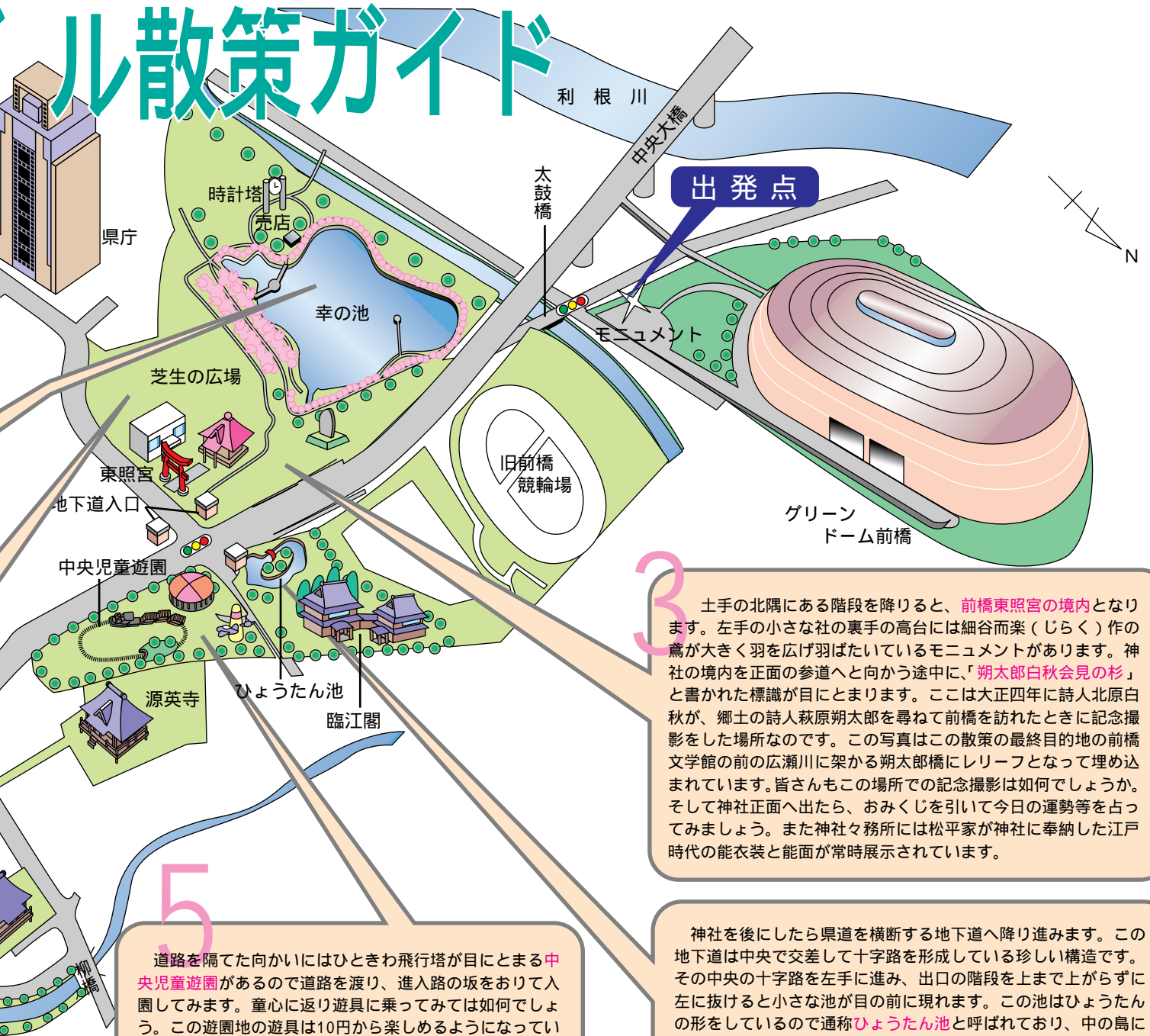


3

弁財天へのお参りが済んだら再び、広瀬川河畔の遊歩道へ戻り右へ進めば目的地の**前橋文学館**です。文学館の左手に架かる朔太郎橋を渡ると市営P城東の立体駐車場があります。この駐車場の1階には**前橋物産館広瀬川店**があって前橋の土産物等を販売しているので立ち寄ってみては如何でしょうか。名物の焼きまんじゅうも食べられます。



# ル散策ガイド



3 土手の北隅にある階段を降りると、**前橋東照宮の境内**となります。左手の小さな社の裏手の高台には細谷而楽（じらく）作の鳶が大きく羽を広げ羽ばたいているモニュメントがあります。神社の境内を正面の参道へと向かう途中に、「**朔太郎白秋会見の杉**」と書かれた標識が目にとまります。ここは大正四年に詩人北原白秋が、郷土の詩人萩原朔太郎を尋ねて前橋を訪れたときに記念撮影をした場所なのです。この写真はこの散策の最終目的地の前橋文学館の前の広瀬川に架かる朔太郎橋にレリーフとなって埋め込まれています。皆さんもこの場所での記念撮影は如何でしょうか。そして神社正面へ出たら、おみくじを引いて今日の運勢等を占ってみましょう。また神社々務所には松平家が神社に奉納した江戸時代の能衣装と能面が常時展示されています。

4 神社を後にしたら県道を横断する地下道へ降り進みます。この地下道は中央で交差して十字路を形成している珍しい構造です。その中央の十字路を左手に進み、出口の階段を上まで上らずに左に抜けると小さな池が目の前に現れます。この池はひょうたんの形をしているので通称**ひょうたん池**と呼ばれており、中の島には平井晩村の「落葉」の詩碑があります。池の右手の階段を登った左には明治天皇の御座所にも使われた**臨江閣**と呼ばれる木造の建物があります。

5 道路を隔てた向かいにはひときわ飛行塔が目にとまる**中央児童遊園**があるので道路を渡り、進入路の坂をおりて入園してみます。童心に返り遊具に乗ってみては如何でしょうか。この遊園地の遊具は10円から楽しめるようになっていて前橋市民であれば一度は訪れたことがあるはず。また遊園地の売店のおでんは超お勧めの一品です。

6 親子連れで賑わう遊園地を横断して、東隅にある階段を上り、一旦県道の歩道へ出て左へ進み坂道を下り交差点を更に左折すると左手には**曹洞宗の源英寺**、右前方には**神明宮**を見ながら広瀬川まで進みます。ここから右手、川の辺には遊歩道が整備されていて、萩原朔太郎、伊藤信吉といった詩人の詩碑が建立され文学館へと続いています。この遊歩道を進むと、まもなく国道17号線を横断する地下道があります。地下道の出口右手に「**広瀬川美術館**」が建っています。ここの二階のアトリエから広瀬川を望む風情はまさしく「水と緑と詩のまち前橋」そのものです。

7 そして遊歩道がアーケードをもった商店街と交差する右角には洋食の老舗レストランボンチがあり、カレーライスがお勧めです。この商店街は浄土宗の大蓮寺の門前町を形成しており、この寺に**弁財天**が祭られていることから「**弁財通り**」と呼ばれています。大蓮寺へは遊歩道を右折しアーケード街へ入って50メートル程進むと右手に、立派な山門が見えてきます。山門をくぐると正面に弁天堂が建っています。

# 特集

## グリーンドーム前橋 ～前橋文学館 Photoガイド



**1** 幸の池：群馬県の形「鶴が羽を広げて舞っている」を模した池で市民の憩いの場として親しまれている。



2

前橋城の土塁：江戸中期までは前橋城と呼ばれていた。現在は天守閣などはなく本丸跡は群馬県庁となっている。

三の丸一帯が前橋公園として整備され、現在水辺公園なども建設中である。



**3** 東照宮：徳川家康公を祭る神社で、前橋藩の藩主松平家が奉祭した神社。現在の社殿は、江戸時代後期に川越で建造された物を解体してこの地へ、運び明治初期に再築されたものである。



**4** 平井晩村：明治から大正にかけて活躍した詩碑 前橋出身の小説家、詩人。（落葉）



**5** 中央児童遊園：前橋城の空堀跡で、以前は赤城牧場として利用されていた土地を前橋市市営の遊園地とした。



**6** 萩原朔太郎：大正から昭和にかけて活躍した前橋出身の詩人。（広瀬川）



**7** 広瀬川：利根川の水を利用した人工河川で前橋市の中心街を横断して伊勢崎市へと流れる。



**8** 前橋文学館：水と緑と詩のまちのシンボルとして市政100周年を記念して建てられた。資料展示のみでなく、広く文化活動の拠点として市民に利用されている。





## 前橋 イベント情報

緑とスポーツの祭典

### 第10回敷島公園まつり

「みどりの日」を記念して、緑化の啓発と普及を図ることを目的に行われることとなった「敷島公園まつり」は、今年もゴールデンウィークの幕開けとなる4月29日 みどりの日に開催されます。

敷島公園内はステージ広場、スポーツ広場、テント村広場などができ、チビッコはみんなあつまれーポート池も無料だぞ！

また、「敷島カップ」争奪少年野球大会、少年サッカー大会、中学生ラグビーフットボール大会、そしてレディース・テニス大会も開催されます。

自称プロカメラマンやカメラを持っている人なら誰でも集まれ！「モデル撮影会」もあります。

場所 / 敷島公園

交通 / JR両毛線・前橋駅よりバス15分 関越自動車道・前橋I.Cより20分



美しいツツジでいっぱいです

### 敷島浄水場開放



ゴールデンウィークの5月3日～5月5日まで敷島浄水場を開放します。

場内には、樹齢150年のクルメツツジなどの花がいっぱいで、水道施設や水道資料館の見学も兼ねて、みなさんでお出かけください。

物産展示即売やイベントもあります。

場所 / 前橋市水道局・敷島浄水場  
交通 / JR両毛線・前橋駅よりバス15分

関越自動車道・前橋I.Cより20分

北関東一の

### 前橋七夕まつり



「前橋七夕まつり」は、昭和26年から全市をあげて開催されています。今年は、7月8日(木)から11日(日)までの4日間開催されます。

市内の各商店街では、さまざまな趣向をこらした七夕飾りが、市長賞など各種の賞を競い合います。

また、一般・団体の方の竹飾りも募集します。

場所 / 市内中心部

交通 / JR両毛線・前橋駅または、上毛電気鉄道・中央前橋駅下車  
関越自動車道・前橋I.Cより15分

200種2,000株のバラがお迎える

### ばら園まつり

5月15日 から6月6日 まで開催されます。

前橋市の花「バラ」を全国にPRし前橋のイメージアップにつなげるため、地元自治会をはじめ敷島公園観光連盟の協力により毎年実施しているのが「ばら園まつり」です。

期間中のイベントは全て「バラ」一色にして、お客様をお迎えします。

なお、駐車場は、利根川河川敷駐車場をご利用ください。

場所 / 敷島公園・ばら園

交通 / JR両毛線・前橋駅よりバス15分

関越自動車道・前橋I.Cより20分



利根川の流れに遊ぶ？

### チャレンジ・オブ・トネ

第18回チャレンジ・オブ・トネ大会は、7月下旬に開催されます。

神秘なる自然の源である川に親しみ、川を愛し、川が存在を再認識するラブリーバー精神に基づいて実施され、自らの手で筏をつくり参加しましょう。

チャレンジ精神旺盛な方は、どなたでもどうぞ！

詳細については、第18回チャレンジ・オブ・トネ大会事務局（前橋商工会議所）

TEL027-234-5111へ



### イベントスケジュール (TRY 参加しよう！)

3月5日～7日 / 第7回世界室内陸上競技選手権前橋大会 (グリーンドーム前橋)

3月10日～12日 / とときめきフェスティバル (群馬県民会館)

3月15日 / 総社神社太々神楽 (元総社町)

4月1日 / 泉沢の獅子舞 (泉沢町)

4月1日～9月30日 / めん街道両毛線キャンペーン

4月8日 / 雷電神社太々神楽 (上新田町)

4月13日 / 片貝神社太々神楽 (東片貝町)

4月15日 / 下長磯操翁式三番叟 (下長磯町)

二宮赤城神社太々神楽 (二之宮町)

4月17日・18日 / 産泰神社太々神楽 (下大屋町)

4月中旬 / 野良犬の獅子舞 (清野町)

6月6日～9日 / アジア自転車競技選手権 (グリーンドーム前橋)

7月下旬 / 第8回前橋納涼夜市 (JR前橋駅北口広場)

# 臨江閣(群馬県指定重要文化財)

## 前橋の 建造物



本館



別館

臨江閣は前橋公園の北隅の高台に利根川を望んで建つ木造建物で、本館・茶室・別館の三棟に分かれていて、この内明治17年に完成した本館・茶室が県の重要文化財に指定されております。この建物は、当時の前橋の有志等の協力と募金により群馬県や前橋の迎賓館として完成しましたが、老朽化のため昭和62年に全面的な保存修理が行われ現在に至っております。

また明治43年に前橋で開催された一府十四県連合共進会の「貴賓館」として建てられた別館は、木造2階建ての入母屋建築で180畳敷の大広間を有しており市の重要文化財に指定され、現在は社会教育施設として市民に広く利用されております。

場 所：前橋市大手町 3丁目15  
電 話：027-231-5792



「三つのM」(1975)  
(飯田 善国：作)

この彫刻は、JR新前橋駅東口の広場にある。

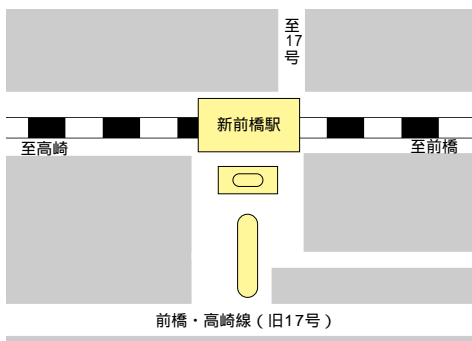
その中央には巨大噴水彫刻がさわやかな水音をたてています。

「三つのM」は水と緑と前橋市の頭文字を示しており、それは、水と緑の街づくりを目指す前橋市のシンボルともなっています。

7メートルの高さから流れ落ちる水は、都会の喧噪を忘れさせ、駅前に憩いの空間を作り出しています。

暑い夏には、さわやかな水音に「涼」をもとめて訪れる人々もたくさんいます。

彫刻が町の一角に潤いある空間を生み出すとともに、豊かな自然を活かした街づくりを人々に訴えています。



## シリーズ 伝統行事 を訪ねて

### 産泰神社 太々神楽

前橋市東部の下大屋

町にある産泰神社は、安産の神として知られる。かつては、北関東中心に多くの産泰講が作られ、参詣者でにぎわった。今でも安産祈願の参詣者が多く見られる。境内地及び本殿・幣殿・拝殿・神門は県指定文化財となっている。

この神社に、古くから太々神楽が伝えられている。神楽の奉納額に明和元年(1764)銘のものがあることから、古い伝統があることがわかる。

この神楽は、古くは神職が奉納していたが、明治10年ころから氏子によって奉納されるようになった。奉納日は毎年4月17・18日で、出雲神楽系統を引く里神楽であり、舞の所作は比較的能に近いものがある。

現在、「猿田彦の舞」「四神の舞」「大蛇退治の舞」など23座が舞われており、近郷近在の神楽の指導的な位置にある。

神楽奉納の前には、舞手、役員がねりこみ(御神幸)という儀式をおこなってから、神楽は開始される。

神楽の盛んであった様子は、文政四年(1822)に書かれた書物に「御講中の座席には、紫ちりめんのまん幕を張り、みなみな謹んで拝覧す」とあることからわかる。





旧前橋駅舎図

## 両毛線開業110周年

両毛線の新前橋～栃木間が開通して、今年で110年を迎えました。(栃木～足利間は昨年110周年) JR高崎支社ではこれを記念して、両毛線の活性化を目的に、観光誘致のための切り口を特に「食＝麺」に絞った『めん街道両毛線キャンペーン』を行います。「列車に乗って美味しい麺を食べに行こう」をキャッチコピーに、各駅から始まる麺類のお店を特集した、小さな旅の小冊子が無料で配布されます。前橋駅エリアはうどんを中心に(そば、ラーメン含む)特集。皆さんのアンケートの結果選ばれたお店が掲載されます。めん処スタンプラリーやめん街道臨時列車も予定されています。期間は4月1日から9月30日まで。また前橋駅では、7月下旬、記念イベントを駅前広場で行い、地元の皆様と手づくりの行事を計画しています。

## 新駅・前橋大島駅開業

3月12日。前橋の東、木工団地内にJR両毛線「前橋大島駅」が開業します。緑の屋根のおしゃれな新しい雰囲気の新駅舎。駅全体にエスカレーター3基、エレベーター4基を備え、バリアフリーを考慮に入れた県内随一の駅となります。平成4年度の県央地域鉄道網活性化検討事業の一環からスタートし、7年の歳月を経て開業。上下線各40本の停車、一日2,800人の乗降客が見込まれて、駅周辺地域の活性化に期待されています。新駅誕生を記念して、オレンジカードと記念切手のシートを発売予定。



### 有名・無名の前橋人 -

#### 藤井新兵衛 (第8代目) (ふじいしんべい) 1861～1931

新兵衛は、佐波郡赤堀村の本間家から養子に來た。長兄千代吉は県会議員や貴族院議員を歴任し、次兄三郎は、衆議院議員に連続三回も当選した県内屈指の政治家の家柄に生まれた。

藤井家は酒井藩士だったが、酒井氏の姫路転封の際居残って帰農し、のち農業から商人となり藩の御用達をつとめ、蔵方を命じられて藩米を一手に扱ったという。金融業・質屋も兼ねて、前橋における財力でも優位にあった。安政二年より製糸業を営むようになり、安政六年の横浜開港で、前橋糸の好景気の波に乗った。幕末には、藩の商法生産懸り、諸商行司、糸繭世話方、穀屋大行司、生糸取締役等も仰せ付けられている。

同家では、代々新兵衛と名乗る。7代新兵衛、下村善太郎、江原芳平らとともに前橋城再築、県庁誘致にいつも先頭に立ち、多額の寄附金を申し出ている。

第8代新兵衛は前橋商工会議所会頭を務め、1897年(明治30年)貯蓄銀行条例の公布で資本金5万円の上毛貯蓄銀行を創業、その頭取となった。



前橋広域圏コーナー

農産物直売所情報



宮城村農林産物直売所



富士見村農産物直売所



大胡町農産物直売所さんぼ道



J A 前橋市産直ゆうあい館



元気村・粕川ふるさと館

富士見村観光協会 (富士見村役場産業課)  
☎027-288-2211 勢多郡富士見村大字田島240  
大胡町観光協会 (大胡町役場都市企画課)  
☎027-283-1111 勢多郡大胡町堀越1115

宮城村観光協会 (宮城村役場産業経済課)  
☎027-283-2131 勢多郡宮城村大字鼻毛石1426-3  
粕川村観光協会 (粕川村役場企画課)  
☎027-285-4111 勢多郡粕川村大字西田面216-1

問い合わせ先

前橋市観光協会事務局  
前橋市商業観光課 ☎027-224-1111 前橋市大手町二丁目12-1  
前橋商工会議所業務課 ☎027-234-5111 前橋市日吉町一丁目8-1  
JR前橋駅観光案内所 ☎027-221-0167 前橋市表町二丁目29-16  
前橋旅館ホテル協同組合 ☎027-231-8693 前橋市大手町三丁目5-13  
前橋市ホームページアドレス <http://www.city.maebashi.gunma.jp/>  
「好きですまえばし」ホームページアドレス <http://www2.wind.ne.jp/sukidesu/>



前橋から透き通った贈り物。  
「まえばしの水」好評発売中

1ℓペットボトル・200円  
全国へ配達 送料実費 先承ります。  
前橋市観光協会事務局へ

価格 100円